山行報告書

報告書作成	2000年5月22日

山名 [山域]	甲武信･両神山登頂 (奥秩父)	目的と方法	100名山ﾊｲｷﾝｸﾞとﾔｼｵ鑑賞
登山期間	2005年5月13日(金) ～5月15日(日)	山行形態	2泊2日(登山口テント泊、日帰り山行)

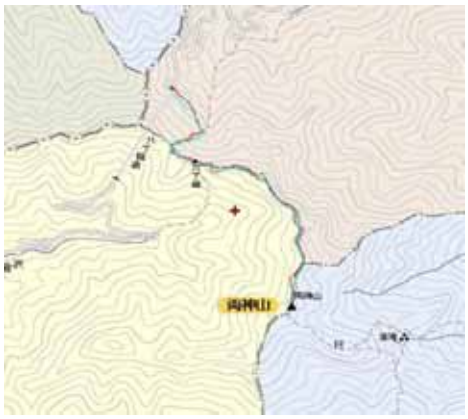
行動記録

5月13日 (金曜日)　旧岡崎市民病院跡ＰＫＧ (20;30) ＝1，55＝駒ヶ根ＳＳ (22;25,22;30) ＝0，30＝長坂IC (23;00) ＝1，10=毛木平Ｐ (00;10) テント泊、就寝 (1;00)

5月14日 (土曜日)　毛木平Ｐ (6;30) -1，10-八丁頭 (7;40) －0，20－十文字小屋(8;00,8;10)-0，40-大山 (8;50,9;00) -1，05-三宝山(1;05、11;20) -0，40-甲武信岳 (12;00，12;35) －1，25－ナメ滝 (14;00，14;10) -1、15-毛木平Ｐ (15;25，16;00) ＝1、30＝上落合橋 (17;30，17;35) ＝0，25＝八丁トンネルＰ (18;00) テント泊、就寝 (20;00)

5月15日 (日曜日)　八丁トンネルＰ (6;30) -0，50-八丁峠 (7;20，7;30) －0，50－西岳 (8;20，8;30) -1，00-東岳 (9;30、、9;40) -0，40-剣が峰 (10;20、10;50) -0，30-東岳 (11;20，11;30) －0，55－西岳 (12;25、12;35) －1，10－八丁峠 (13;45) -0，35-八丁トンネルＰ (14;20，14;50) =0，25=こまどり荘温泉 (15;15，16;00) =2，25=諏訪ＳＡ (18;25、19;00) =2，15=旧岡崎市民病院跡ＰＫＧ (21;15)

概念図



日誌

5月13日 (金曜日) 快晴

14日早朝出発を、13日夜にして、余裕のある計画にした。ゴールデンウイークの、後のせいか、東海環状道路、中央道とも、すいており、予定より、約、1時間半早く、到着した。毛木平の、直前、２ＫＭくらいは、悪路ですが、さすが、100名山、100台くらいの、大駐車場、(トイレットペーパー付きのトイレ有り) 4台のみ駐車で、結果的には、翌日、石楠花は、数本くらいしか、咲いていず、まだ、少し、はやかったようです。駐車場に近づくと、鹿が、動くのが、見えました。テントは、1張りもなく、屋根付きの、立派な、休憩所があり、真夜中でも、あるので、そこに、テントを、張らしてもらい、屋根付きの、宿泊でした。簡単に、宴会して、寝ました。

5月14日 (土曜日)　晴れ、時々、曇り

予定通り、6時30分に、毛木平Pを出発し、八丁の頭の尾根に出ると、これから登る甲武信岳の雄姿が、薄っすらと雪化粧して、遠くに見えた。十文字小屋を過ぎる頃から、案の定、新雪となり、心地よい歩きを楽しんだ。大山からは、雪に覆われた八ヶ岳連峰と、更に奥の、南アルプスを遠く望むことができた。更に進むと、武信白岩岳の入り口に着いたが、崩れ落ちそうな岩山で、進入禁止になっていた。そこを迂回して、通り過ぎた頃、好天が災いして、木々の雪が雨のように降り注いできたので、急いでカッパを着用した。三宝山を過ぎる頃から、雪が多くなり、大きな足跡をつけながら登り続けると、 小神社のある甲武信岳の頂上に、正午に着いた。あいにく雲が出ていて、先程のような眺望は、既に失われていた。昼食後、折角用意してきたアイゼンだから、取り付けて下山を開始したら、お陰で楽に下山ができた。 途中、沢のほとりの雪の中に、「千曲川、信濃川源泉」の大きな道標が現れた。更に、沢伝いに下りていくと、丁度、下山路の半ばのあたりに、遭難碑があり、その横に豊富な水量のナメ滝が、激流を伴って流れ落ちていた。毛木平に近づいた頃、大山を見返せるあたりに、大山権現がこじんまりとお祭りしてあり、今日の登山の無事をお礼して毛木平Pに着いた。一休憩した後、明日登る両神山に向けて、落石注意のガタガタ道を注意深くドライブした。途中、5時以降進入禁止のゲートがあり、この先閉じ込められると困ると思い、スピードを上げて走り、無事、川上村の着いた。交番に立ち寄り、道路の安全確認と、ついでに登山計画書も提出した。目的の上落合橋は、駐車4台ぐらいでトイレも無く、テントを張るには今一だったので、その先の八丁トンネルPに行った。1台車が駐車していたが、ここは舗装がされていて20台は駐車でき、屋根つきの休憩所もあった。今日もラッキーに屋根つきの宿泊でした。手頃な机も在り、にわか作りの赤提灯の開店となり、宴会は大いに盛り上がりました。 8時からぐっすり寝ました。

5月15日(日曜日)　曇りのち晴れ、時々雨、夕方雷雨

八丁トンネルPを予定より30分遅れ、6時30分出発。いきなり鎖の登りからで、昨日の疲れもありきついスタートだ。八丁峠に着くと、ヤシオが咲いており歓声！！西岳に向けて鎖場の連続で、あたり一面のヤシオに慰め励まされ、騙しの頂上を3個ほど過ぎると、ようやく本物の西岳に着いたが、雨が降ってきてカッパを着用し、東岳に向けて、また、鎖場の連続だ。股が引き裂けそうな大岩が何個かあり、雨ですべる中、苦戦の連続。ようやく東岳に着いた頃、雨も止んだ。ここで、場合によっては引き返そうと考えていたが、ここからはふつうの山登りとなり、間もなく剣が峰に着いた。頂上は10人ほどのスペースだったが、360度のパノラマで、さすがに富士山は見えなかったが、奥秩父の緑豊かな山々を堪能しました。びっくりしたことに、頂上までヤシオが咲き誇り、まさにヤシオ山でした。1週間早めたCLは、さすが！ヤシオを眺めながら、達成感に浸りゆっくりと昼食をとった。下山はピストンなので、また、鎖場を下りたり登ったりの繰り返しで、おまけに、また、雨が降ってきたので注意深く下りた。ようやく鎖場が終わり、八丁峠に着いた頃、今度は雷となり、雨も強くなり、更に、霰になったので、一目散に下山した。もう、2度と来ないかもしれないと言うことで、こまどり温泉に入るため、車で30分ほど川上村まで戻り、交番に下山報告をし、温泉につかった。今度は大回りだが国道に向かい、舗装道路を快適に走り、甲府市に向かった。途中、富士山が異様に大きく近くに見えた。車の中で、次の計画を話しながら、無事帰岡した。

感想　100名山ﾊｲｷﾝｸﾞという事で、参加させてもらった。甲武信岳は、雪山で、石楠花には、はやかったが、用意した、アイゼンを、早速つかえた。両神山は、鎖場の、連続で、しかも、ピストンで、大変でしたが、ヤシオすくしで、心なぐさめられた。二日とも、カッパが、時折、必要でしたが、(これで、入会以来、3日間とも、カッパで、、制服と、したくないですが。。。) 天候には、、めぐまれ、アルプスとは違い、奥秩父は、、標高が、低いだけに、一味違った、みずみずしい山々を、堪能できました。でも、チョット、ハードで、さすが、山岳会だと、おもいました。ヤシオは、期待以上、宴会も、期待以上、お喋りも、期待以上、楽しかったです。いろいろ、指導いただき、思いあたること、多く、ありがとう、ございました。

－－－－－－－－－－両神の、岩をなぐさむ、ヤシオかなーーーー(言っちゃ)